

言の発のき

今年の春も十人の若々しい新入社員が入社した。イルカ世代と呼ばれる彼らは、明るく、まじめで、情報に敏感だが、とかく群れたがる性格を持つとか。それだけに個性派は少なくなつたという。

さて、入社式の後、彼らに質問を試みた。

「あの人はよくできた人とか、よくできる人とか言いますが、この違いは分かりますか」
最初のA君は「よくできた人

とは過去に仕事ができただけで、よくできる人とはこれからの仕事ができる人だと思ひます」と言う。ややびくつきして、B君、C君さんに質問しても同様の答えが返つてきた。要するに、違いは過去と未来というわけである。

イルカ世代

る。

僕らの世代は、上杉謙信がラ・イバルの武田信玄に塩を送つたとか、清水善造というテニスプレーヤーがアメリカのチルドレン選手が足を滑らせて倒れた時、山なりのゆるいボールを返した

という美談を知っている。しかし、若い世代は、湾岸戦争で巡航ミサイルが的確にかつ機械的にイラクの軍事施設を破壊し、プロテスタントの試合では、情け容赦なくオープンスペースにボールが打ち込まれるのを目の当たりにする。

そして、まわりを見渡せば、バブルを生み出した拝金主義や政財官の癒着による汚職が日本列島をおおっているのだから、よくできた人を探すのが困難な時代なのかもしれない。イルカ世代のやさしそうな目を見ながら、彼らならば正しい価値観を見つけ出せると思つた。

亀井通産(社) 社長
亀井 創太郎
亀井 創太郎